

81

Flashの中がクリックされた
数を数えよう

Flash内のクリックを解析する

企業サイトでは、メニューにFlashが使われるケースもありますが、従来のアクセス解析ではFlashのメニューのどこがクリックされたかを測ることはできませんでした。Google Analyticsでは、Flash内のリンクにJavaScriptを設定することでFlashのどこがクリックされたかを解析できます。下の例では、Flash内で起きたイベントを「/flash/ (ファイル名)」という名前の架空のページビューとして数えています。ディレクトリ名は何でもかまいませんが、特別な理由がなければわかりやすく「/flash/」としておきましょう。90ページのワザ41と同様に、あとからFlashのイベントだけをまとめて確認できます。思ったよりもFlashがクリックされていない場合は、訪問者に受け入れられていない可能性があります。Flashを使わないHTMLのページも用意して、60ページのワザ23を参考に一定期間のアクセスを確認しましょう。

関連ワザ 38 JavaScriptを活用して外部へのリンクも数えよう……P.87

● Flashの記述例

```
on(release) {
  // Track with no action
  getURL("javascript:urchinTracker('/flash/company');");
}
```

「flash」ディレクトリの「company」という架空のページへのアクセスが記録される

```
on(release) {
  //Track with action
  getURL("javascript:urchinTracker('/flash/support');");
  _root.gotoAndPlay(3);
  myVar = "Flash Track Test"
}
```

「flash」ディレクトリの「support」という架空のページへのアクセスが記録される

```
onClipEvent(enterFrame) {
  getURL("javascript:urchinTracker('/flash/product');");
}
```

「flash」ディレクトリの「product」という架空のページへのアクセスが記録される

用語

FlashP.197
HTMLP.197
JavaScriptP.197
ディレクトリP.200
ページビューP.201
リンクP.201

トラッキングコードの
位置に注意

Googleのヘルプによると「urchinTracker()」などのJavaScript関数を使う場合は、Google Analyticsのトラッキングコードの位置をスクリプトよりも上に移動する必要があります。